



ら しん ばん
羅 針 盤

2022年4月12日 第23号

魚住東中学校 校長室から

命輝く季節を迎えました



校長 赤松 弘一



春の訪れが遅く、学校の桜は、始業式までその美しい花を枝にとどめてくれました。私たちの周りには柔らかな光が満ち、寒い冬を耐えた生き物たちは生きていることの喜びを表すかのように輝いています。この素晴らしい季節の中、11日の入学式において155名の新1年生を迎え、全校生がそろって令和4年度の魚住東学校の1年が始まりました。

さて、世界に目を向けると、ロシアのウクライナへの侵攻により、今も多くの市民が犠牲になっています。皆さんと同じ中学生や、その兄弟、姉妹、父母、祖父母が命を奪われ、住む家を失い、未来の夢を奪われています。歴史の教科書で見ると戦争が、今実際に起こっているのです。遠い国の事と考えるべきではありません。武力で他国を侵略したり、市民を巻き込んだりする戦争を放置すれば、世界の各地で同じような悲劇が起きることが危惧されます。未来は予想できませんが、それは現在の延長線上にあります。今をどのように生きていくかが、未来につながっていることは間違いないでしょう。自分で考え判断し、正しい道を選ぶことが求められます。

この学校だよりは『羅針盤』と名付けています。船が何の目印もない大海原を進むとき、太陽や星を頼りに進路を確認して進みます。しかし雲に覆われた星の無い夜には羅針盤（コンパス）が頼りです。私たちも自分の目指すべき道を誤らず進むために羅針盤が必要です。生きていく中で様々な経験をし、人とつながり、たくましく生きていく力を身に付けたとき、頼りになる羅針盤は自分の中にあります。中学校生活でそんな羅針盤を心の中にしっかりと作ってほしいと思います。今は未来につながっています。

保護者の皆様へ

中学校3年間は前期青年期の多感な時期にあります。この数年間は一生の中でも心身ともに大きく成長する時期です。同時に子どもたちは様々な葛藤や孤独感を感じ、不安定になることもあります。そして時には反抗したり、つまずいたりすることもあるかもしれません。しかし、それらはやがては子どもたちがたくましく自立して生きていくための糧となるでしょう。そんな自立に向けた歩みを支えていきたいと思っています。

何かとご心配なこともおありかと存じますが、学校と家庭が緊密に連絡を取り合いながら、地域の皆様とともに子どもの成長を見守っていきたいと思います。今年度もご協力賜りますよう、よろしく願いいたします。